

## ステークホルダーの皆様へ

この小冊子は、“環境報告書 2016”と銘打って、2015年度中におけるタツタ電線グループの環境活動の経過と成果について御報告することを主な目的として作成しておりますが、併せて同年度の事業活動、社会貢献活動についても記載しております。ステークホルダーの皆様にはタツタ電線グループの活動全体について御理解を深めていただく一助になればと念じているところであります。

さて、タツタ電線グループは、1947年度の創業（熔銅から伸線までの一貫操業開始）以降、電線・ケーブル事業に取り組んでおりますが、近年では、電線・ケーブル事業において培った導電体技術、絶縁体技術を基に、産業用ロボット等に用いられる優れた対屈曲性を有する機器用電線事業、スマートフォン等において広く使用されている電磁波シールドフィルム等の機能性材料事業とともに、ファイファイヤ事業、機器システム事業、光部品事業、分析事業などを幅広く国内外に展開しております。

タツタ電線グループの環境に関する基本的な考え方は、企業行動指針に示しているとおり、“地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであり、経営の基本であることを認識し、事業活動のあらゆる面において環境と人との調和を目指します”ということでもあります。すなわち、タツタ電線グループは、環境に配慮した優れた製品を社会に提供するとともに、その生産に当たっては環境への負荷低減を徹底するということでもあります。2015年度の具体的な活動と成果については、本冊子記載のとおりであります。これまで同様、最新鋭設備の導入、作業の改善等により省エネ推進、排出物・廃棄物削減に一定の成果を上げております。

社会貢献活動については、大阪工場（大阪府）においては体育館を活用したスポーツ振興活動、テクニカルセンター（京都府）においては地域性を考慮した芸術・文化の支援活動に特に注力しているところでありますが、これらに加え、常日頃から各拠点において地域との繋がりを重視した活動を推進しております。

タツタ電線グループは、全従業員が一丸となって、これからも社会に必要とされる製品・サービスを提供し、持続可能な社会の発展に尽力してまいります。皆様の一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。



タツタ電線株式会社  
代表取締役社長 **外池 康太郎**